

89人が新たな学び舎へ 第16回鶴翔高校入学式

4月6日、第16回入学式が行われ、総合学科56人、農業科学科22人、食品技術科11人、計89人が鶴翔高校に仲間入りしました。

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、新入生ならびに保護者と本校職員のみで挙行されました。前田良文校長は「入学にあたり、自ら求めて学ぶ心、規律ある行動、可能性への挑戦と試練に立ち向かう勇氣、これらのことを皆さんに求め、感動に満ちた豊かな高校生活を送ることを期待します」と式辞を述べ、新入生を代表して海平美紅さん（阿久根中出身）が「鶴翔高校の生徒として、誠実に、また謙虚に、スクールモットーの“挑戦・感動そして愛”を心に留めて、日々努力を重ねていきます」と力強く誓いの言葉を述べました。



一生懸命になれることを見つけよう！ ～ 部活動紹介が行われました ～

「どんな部活動があるのかな？」鶴翔高校では、1年生の1学期間は積極的に部活動を自由に体験できる期間となっています。そこで、各部活動の日々の取り組みを1年生に紹介するために、4月9日（木）、部活動紹介が行われました。

先輩方の日頃の活動の実演やユーモアあふれる発表に、総合学科1年の徳留洸さん（宮之城中出身）は「鶴翔高校の伝統ある部活動について知ることができました。1年生も先輩方と共に、文武両道で頑張ります」と話していました。各部活動の発表を聞き、自分が興味を持った部活動を見つかることができたと思います。体験期間を通して積極的に部活動に参加し、3年間一生懸命になれる部活動に入部してくれることを期待します。



“新しくデザインされた制服”の着こなしなども学べる「制服セミナー」開催！

4月16日（木）、制服セミナーが本校で行われました。制服の着こなしや何のために制服があるのかを学ぶために、毎年1年生を対象に実施しています。

南九州トンボ株式会社の方にお越しいただき、制服は「その人が何者か」を表す大切なアイテムだということを知ることができました。また、本年度の1年生から制服が新しいデザインへ変更されました。スクールカラーである群青色のほかに、活発で明るい印象の赤と清らかで清潔な白を基調としたリボンやネクタイがデザインされ、鶴翔高校の生徒が色の印象の様に成長してほしいという願いが込められています。総合学科1年の倉村姫叶さん（阿久根中出身）は「制服を受け取って試着したとき、とてもわくわくしました。実際に着てみて、リボンもスカートも可愛くて、とても気に入っています」と、制服を着てみた感想を生き生きと語ってくれました。



女子のスラックスタイプもあります!!